

Animals Pedal 1927 HOME RUN KING COMP. 取扱説明書

このたびはAnimals Pedal 1927 HOME RUN KING COMP.をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
本機の性能を発揮するためにも、ご使用前に当説明書をお読みください。

ナチュラルなサウンド、シンプルな操作性、LEDによるリアルタイム表示ができる人気のコンプレッサー、1927 Home Run King Comp.を、従来よりも電池交換を容易にしながら、より手前にフットスイッチを配置して演奏性を高めました。
LEDは1つですが、これまで同様コンプレッサーの動作をリアルタイムに確認できます。
また、Animals Pedalならではの美しいペダルデザインをさらに大きく、より美しく載せることができるようになりました。

エレキギターにとって、コンプレッサーほど効果的で、しかし分かりにくいエフェクターはありません。
たしかに、コンプレッサーというエフェクトは、派手な効果を作るエフェクトではないかもしれませんが、また、“音を粒揃える”エフェクトということから、何故か“プレイを誤魔化す”エフェクトと見られることすらあります。

コンプレッサーは、効果の無いエフェクトでもなければ、プレイを誤魔化すエフェクトでもありません。エレキギターにとって重要な音色の基本を作るために欠かせないペダルです。

1927 HOME RUN KING COMP.は、現代のプレイヤーが必要とする“ナチュラル”なコンプレッサーであり、同時にその効果が分かりやすく、シンプルに使うことのできるコンプレッサーです。ハイエンドなスタジオコンプレッサーをベースとし、ギターペダルの枠を超えたクオリティを実現しました。

●コンプレッサーとは

コンプレッサーは、音色の密度を変化させるためのエフェクトです。その原理はオーバードライブなどの歪み系エフェクトに近く、ある意味では“歪まない歪み系”と言えるかもしれません。

効果は、音色のサステイン(伸び)が長くなり、音が前に出ようとする力が強く、さらにギターを弾いた時の音色が扱いやすくなります。
ギターで“音作り”と言った時、まず歪みや空間系のサウンドを想像するかもしれません。しかし、“クリーントーンの音作り”を意識してみると、また新たな視野が開けてきます。
コンプレッサーを上手く使うことができるようになると、激しい歪みと静かなクリーンを自在に、積極的に使い分けることができるようになり、それはドラマティックなプレイへと繋がっていきます。

1927 HOME RUN KING COMP.は、エフェクトのON/OFFを示すLEDとは別にコンプレッサーそのものの働きを示すLEDが点灯し、“今出している音にコンプレッサーがかかっているのかどうか”を一目で判別することができます。
コンプレッサーそのものの音色は圧倒的にナチュラルであり、同時に1ノブながらフルレンジにコントロールのできるEQノブにより、音色全体の補正にも効果的です。
例えば、音が少し暗いと感じたらEQを時計回りに、逆に音が明るすぎるときは反時計回りに回すことで、感覚的にギタートーンの“明暗”を調整することができます。

さらに、1927 HOME RUN KING COMP.は、多くのコンプレッサーと比較しても圧巻のローノイズを実現。ハイクラスのスタジオコンプレッサーとも引けをとりません。

シンプルな3つのノブ、動作がひと目で分かるLEDインジケータを搭載し、中身はハイエンドクラスなコンプレッサー。幅広いプレイヤーにご愛用いただける、Animals Pedalらしいコンプレッサーです。

フットスイッチはトウルーパーバイパス。9V電池、またはスタンダードなセンターマイナスDC9Vアダプターで駆動します。

●コントロール

VOL: 音量を調整します。

COMP: コンプレッサーのかかりの強さを調整します。

EQ: 音色を調整します。

ボールパークに思いを馳せて。
まだ野球場がボールパークと呼ばれていた時代、
スーパースタークマ2匹が夢の共演。
子供達の夢を乗せた彼らの描く放物線は高く伸びやかに夜空に
吸い込まれます。まるでこのコンプのように。

消費電流: 17.5mA

インプットインピーダンス: 500k

アウトプットインピーダンス: 10k